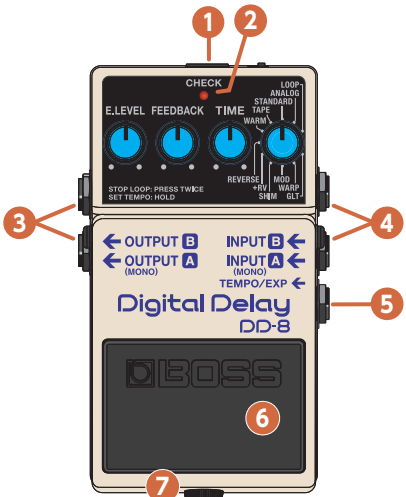
DD-8 Digital Delay

リファレンス・マニュアル



BOSS

各部の名称とはたらき



1 DC IN 端子

AC アダプター（PSA-100：別売）を接続する端子です。AC アダプターを使用すると電池切れの心配がなく、長時間の演奏ができます。

- ※ **AC アダプターを使用する場合でも電池を入れておくと、万一 AC アダプターのコードが抜けても演奏が続けられます。**
- ※ **AC アダプターは、必ず指定のもの（PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。**
- ※ **電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。**

2 CHECK インジケーター

エフェクト・オン／オフの表示と、各機能の表示、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケーターです。

エフェクト・オン時に点灯して、エフェクト・オン／オフの確認ができます。

- ※ **エフェクト・オン時や各機能の表示のときにインジケーターが暗くなったり点灯しなくなったときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。交換方法については、「電池交換のしかた」（P.21）をご覧ください。**
- ※ **CHECK インジケーターはエフェクト・オン／オフ、各機能を表示するインジケーターです。電源のオン／オフの表示ではありません。**

3 OUTPUT-A（MONO）端子、OUTPUT-B 端子

アンプや他のエフェクターに接続する出力端子です。

※ **モードや接続によって機能が異なります。詳しくは「出力のしかたを設定する」（P.15）をご覧ください。**

4 INPUT-A（MONO）端子、INPUT-B 端子

ギター、その他の楽器やエフェクターの出力を接続する入力端子です。

※ **モードや接続によって機能が異なります。詳しくは「出力のしかたを設定する」（P.15）をご覧ください。**

※ **INPUT-A（MONO）／INPUT-B 端子は電源スイッチも兼ねています。接続プラグを INPUT-A（MONO）／INPUT-B 端子に差し込むと電源がオンになり、抜くとオフになります。エフェクターを使用しないときは、INPUT-A（MONO）／INPUT-B 端子に挿入しているプラグを抜いてください。**

5 TEMPO/EXP 端子

外部フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）または、エクスプレッション・ペダル（別売：Roland EV-5、FV-500H、FV-500L、EV-30）を接続する端子です。

フットスイッチによるテンポの設定、ループの操作、TWIST のオン／オフ、エクスプレッション・ペダルによる各パラメーターの操作ができます。

※ **詳しくは「外部フットスイッチでテンポを設定する」（P.12）、「外部フットスイッチでループ機能を使う」（P.14）、「TWIST 機能を使う」（P.14）、「エクスプレッション・ペダルによるコントロール」（P.19）をご覧ください。**

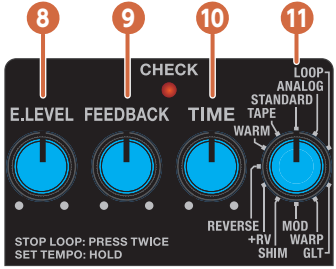
6 ペダル・スイッチ

エフェクト・オン／オフの切り替えや、各機能のスイッチです。

7 サム・スクリュー

このサム・スクリューをゆるめるとペダルが開き、電池の交換ができます。

※ **交換方法については「電池交換のしかた」（P.21）をご覧ください。**



8 [E.LEVEL] つまみ

エフェクト音の音量を調節します。右に回すほどエフェクト音が大きくなります。3 時の位置に設定すると、ダイレクト音と同じ音量になります。

※ **REVERSE モードの場合、E.LEVEL つまみを MAX に設定すると、エフェクト音のみが入力音と同じレベルで出力されます。**

9 [FEEDBACK] つまみ

フィードバック量を調節します。右に回すほどディレイ音の繰り返し回数が多くなります。

※ **LOOP モードでは使用しません。**

※ **GLT モードでは GLT 効果のかかり具合を調節します。**

※ **つまみの位置によって発振することがあります。**

10 [TIME] つまみ

ディレイ・タイムを調節します。右に回すほどディレイ・タイムが長くなります。

※ **LOOP モードでは使用しません。**

※ **[MODE] つまみの位置によって設定可能なディレイ・タイムは異なります。**

11 [MODE] つまみ

ディレイ効果を切り替えます。

12 [CARRYOVER] スイッチ

エフェクトをオフにしたときにディレイ音が残る（ON）か、残らない（OFF）かを選ぶことができます。



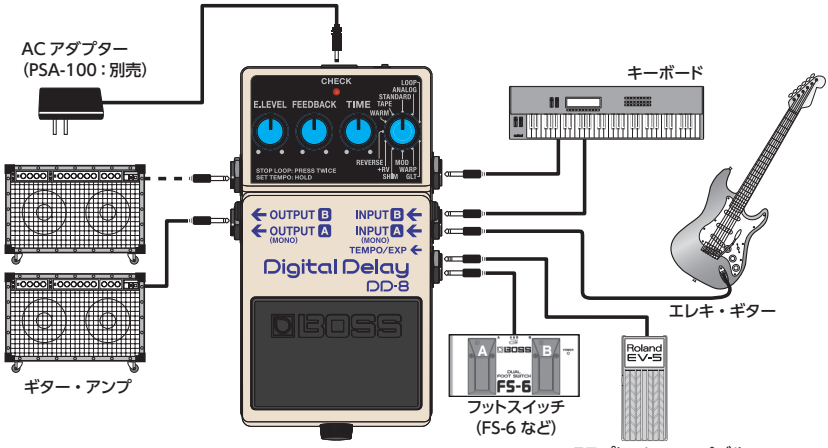
各モードの特長

MODE つまみ	説明	ディレイ・タイム
STANDARD	クリアなデジタル・ディレイです。	20 ～ 800ms
ANALOG	マイルドなアナログ・ディレイです。	20 ～ 800ms
TAPE	テープ・エコーに特有の、ゆらぎのあるサウンドです。	20 ～ 800ms
WARM	マイルドなデジタル・ディレイです。	20 ～ 800ms
REVERSE	逆再生するディレイです。	300 ～ 5000ms
+RV	リバーブを加えたディレイです。	20 ～ 800ms
SHIM	ピッチを変えた音を混ぜたディレイです。	200 ～ 800ms
MOD	ゆらぎのあるデジタル・ディレイです。	20 ～ 800ms
WARP	幻想的な音を作り出します。	20 ～ 800ms
GLT	機関銃のような音を作り出します。 ペダル・スイッチを踏んでいる間、効果が得られます。	10 ～ 400ms
LOOP	演奏内容を録音して、その内容を繰り返し再生します。 詳しくは「ループ（オーバーダビング）機能の使いかた」（P.13）をご覧ください。	40sec. *1

*1：LOOP モード時はステレオ入力で最大 20 秒、モノ入力で最大 40 秒です。

※ ロング・ディレイの出力設定をすると、ディレイ・タイムは 2 倍になります。詳しくは「出力のしかたを設定する」（P.15）をご覧ください。

接続のしかた

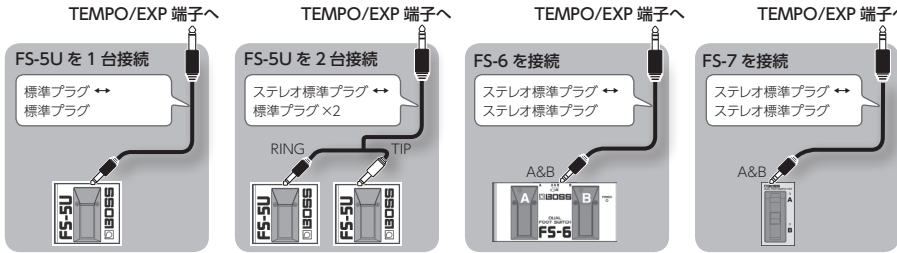


接続方法によって、さまざまなディレイ効果が得られます。
詳しくは「出力のしかたを設定する」(P.15) をご覧ください。

フットスイッチの接続

使用するケーブルや、ポラリティー・スイッチの設定は図を参考にしてください。

※ 外部ペダルを接続するときは、必ず電源を切った状態で抜き挿しをしてください。誤動作の原因になります。



接続時の注意

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

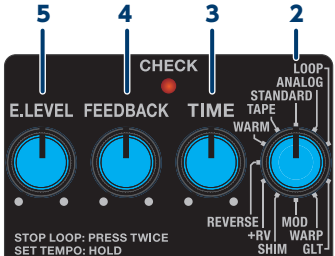
※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

※ 正しく接続したら、必ず次の手順で操作してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損したりする恐れがあります。

- 電源を入れるとき：ギター・アンプの電源を最後に入れてください。
- 電源を切るとき：ギター・アンプの電源を最初に切ってください。

※ 電池だけで使用する場合、電池が消耗してくると CHECK インジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。

基本操作



1. エフェクトをオンにする。

接続を終えたら、ペダル・スイッチを踏み、エフェクト・オンの状態にします。（CHECK インジケーター赤点灯）

※ **LOOP モードのとき、エフェクトのオン／オフはできません。**

※ **接続方法によって、さまざまなディレイ効果が得られます。詳しくは「出力のしかたを設定する」（P.15）をご覧ください。**

2. モードを選ぶ。

［MODE］つまみで使用するモードを選びます。

※ **モードによって操作が異なります。詳しくは「各モードの特長」（P.5）をご覧ください。**

3. ディレイ・タイムを調節する。

［TIME］つまみでディレイ・タイムを調節します。

4. フィードバック量を調節する。

［FEEDBACK］つまみでフィードバック量（繰り返し量）を調節します。

※ **入力音やつまみの位置によって発振することがあります。**

5. 音量を調節する。

［E.LEVEL］つまみでエフェクト音の音量を調節します。

テンポ・ディレイの使いかた

演奏曲のテンポに合わせてペダル・スイッチを踏むことにより、テンポにあったディレイ・タイムに設定したり、演奏中にディレイ・タイムを変更したりできます。

テンポ入力による設定可能なディレイ・タイムの範囲は 67 ～ 10000 ms です。BPM = 24 ～ 300 に対応します。

TAP DIVISION を設定する

ペダルを 4 分音符の間隔で踏んだとき、実際に設定されるディレイ・タイムの音符の長さを決めます。テンポ・ディレイを使うときは、あらかじめ、この TAP DIVISION を設定しておく必要があります。

1. INPUT-B 端子にプラグを挿入、INPUT-A (MONO) 端子からプラグをはずす。

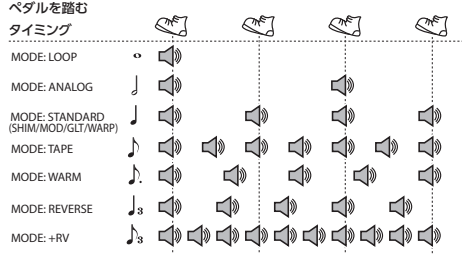
2. ペダル・スイッチを押しながら INPUT-A (MONO) 端子にプラグを挿入する。

TAP DIVISION の設定モードになり、CHECK インジケーターはオレンジに点灯します。

3. TAP DIVISION を選ぶ。

[MODE] つまみで TAP DIVISION の値を選びます。

選んだ値に応じて、実際のディレイ・タイムは図のようになります。



※ 工場出荷時は「4 分音符 (STANDARD)」に設定されています。

※ GLT モードでは、ディレイ・タイムは上記の 1 ／ 4 の長さになります。

4. 設定を保存する。

ペダル・スイッチを踏むと CHECK インジケーターがオレンジの高速点滅になり、設定を保存します。

設定が保存されると、通常の状態に戻ります。

※ CHECK インジケーターの高速点滅中は、絶対に電源をオフにしないでください。
※ この設定は電源をオフにしても保存されます。

ペダル・スイッチでテンポを設定する

1. モードを選ぶ。

［MODE］つまみで使用するモードを選びます。

※ WARP ／ GLT ／ LOOP モードでは、テンポ入力できません。

2. テンポ・モードに切り替える。

ペダル・スイッチを 2 秒以上踏んで、テンポ・モードに切り替えます（CHECK インジケーター緑点灯）。

※ 外部フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を TEMPO/EXP 端子に接続している場合は、ペダル・スイッチによるテンポ・モードに入ることはできません。

3. テンポを入力する。

曲のテンポに合わせて、4 分音符の間隔でペダル・スイッチを踏みます（CHECK インジケーター赤／緑点滅）。

テンポと TAP DIVISION の値に応じたディレイ・タイムがセットされます。

たとえば、TAP DIVISION が付点 8 分音符（WARM）に設定されている場合、曲のテンポに合わせて、4 分音符の間隔でペダル・スイッチを踏むと、その間隔を元にテンポが算出され、算出されたテンポの付点 8 分音符の長さでディレイがかかります。

4. テンポ入力を終了する。

ペダル・スイッチを 2 秒以上踏み、設定を終了します（CHECK インジケーター赤点灯）。

※ 操作 3 から操作 4 に移るとき、一瞬テンポが乱れることがあります。
※ ［TIME］つまみを回すと、ディレイ・タイムはつまみの位置の設定になります。

外部フットスイッチでテンポを設定する

TEMPO/EXP 端子にフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続することにより、テンポ・ディレイのテンポ入力をすることができます。

※ **エフェクト・オン／オフにかかわらずテンポ入力できます。**

1. フットスイッチを TEMPO/EXP 端子に接続する。

※ **外部ペダルを接続するときは、必ず電源を切った状態で抜き挿しをしてください。誤動作の原因になります。**

2. モードを選択する。

［MODE］つまみで使用するモードを選びます。

※ **LOOP モードでは、テンポ入力できません。**

3. テンポを入力する。

曲のテンポに合わせて、4 分音符の間隔でフットスイッチを踏みます。（エフェクト・オフ時：CHECK インジケーター赤点滅、エフェクト・オン時：CHECK インジケーター赤／緑点滅）

フットスイッチ	操作
FS-5U を 1 台接続する場合	ペダルでテンポを入力します。
FS-5U を 2 台接続する場合	TIP 側のペダルでテンポを入力します。
FS-6、FS-7 を接続する場合	スイッチ B でテンポを入力します。

テンポと TAP DIVISION の値に応じたディレイ・タイムがセットされます。

> たとえば、TAP DIVISION が付点 8 分音符（WARM）に設定されている場合、曲のテンポに合わせて、4 分音符の間隔でフットスイッチを踏むと、その間隔を元にテンポが算出され、算出されたテンポの付点 8 分音符の長さでディレイがかかります。

※ **ペダル・スイッチでのテンポ入力はできません。**

※ **TIME つまみを回すと、ディレイ・タイムはつまみの位置の設定になります。**

※ **ペダルを踏んだ間隔に合わせて CHECK インジケーターが赤点滅します。**

ループ（オーバーダビング）機能の使いかた

ループ機能を利用すると、最大 40 秒までの演奏内容を録音し、その内容を繰り返し再生させることができます。録音した演奏に合わせて別の演奏を重ねて録音（オーバーダビング）することもできます。

1. LOOP を選ぶ。

[MODE] つまみを LOOP に合わせます（CHECK インジケーター消灯）。

2. 録音を開始する。

ペダル・スイッチを踏むと同時に録音を開始します（CHECK インジケーター赤点灯）。

※ **最大録音時間は、ステレオ入力時 20 秒、モノ入力時 40 秒です。**

※ **ペダル・スイッチを離しても録音は継続されます。**

3. 録音終了→再生を開始する。

録音状態でペダル・スイッチを踏むと録音を終了し、再生状態に移ります（CHECK インジケーター緑点灯）。

4. オーバーダビングを開始する。

再生状態でペダル・スイッチを踏むとオーバーダビングを開始します（CHECK インジケーターオレンジ点灯）。

5. オーバーダビング終了→再生を開始する。

オーバーダビング状態でペダル・スイッチを踏むとオーバーダビングを終了し、再生状態に移ります（CHECK インジケーター緑点灯）。

6. 音量を調節する。

[E.LEVEL] つまみで再生音の音量を調節します。

7. 再生を終了する。

再生を終えるときは、ペダル・スイッチを連続して 2 回踏みます。（録音したデータがある場合は、CHECK インジケーター緑点滅）

※ **1 秒以内の間隔で、ペダル・スイッチを連続して 2 回踏んでください。**

録音した内容を消去するときは、ペダル・スイッチを 2 秒以上長押します。

外部フットスイッチでループ機能を使う

TEMPO/EXP 端子に外部フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続することにより、停止／消去の操作ができます。

※ 外部ペダルを接続するときは、必ず電源を切った状態で抜き挿しをしてください。誤動作の原因になります。

フットスイッチ	操作
FS-5U を 1 台接続する場合	ペダルを踏むと停止します。
	ペダルを長押しすると消去します。
FS-5U を 2 台接続する場合	RING 側のペダルを踏むと消去します。
	TIP 側のペダルを踏むと停止します。
FS-6、FS-7 を接続する場合	スイッチ A を踏むと消去します。
	スイッチ B を踏むと停止します。

TWIST 機能を使う

TEMPO/EXP 端子に外部フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続すると、アグレッシブな回転感を作り出す TWIST 機能が使えます。

※ 外部ペダルを接続するときは、必ず電源を切った状態で抜き挿しをしてください。誤動作の原因になります。

※ LOOP モードでは、TWIST 機能は使えません。

フットスイッチ	操作
FS-5U を 2 台接続する場合	RING 側のペダルを踏むと、TWIST 効果がかかります。
FS-6、FS-7 を接続する場合	スイッチ A を踏むと、TWIST 効果がかかります。

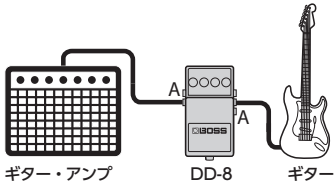
※ FS-5U を 1 台だけ接続する場合は、TWIST 機能は使えません。

出力のしかたを設定する

DD-8 では、接続方法によって、さまざまなディレイ効果が得られます。

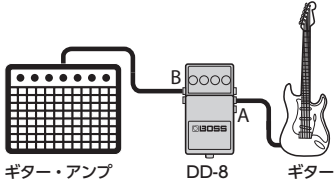
ノーマル

A 入力、A 出力でモノ・ディレイになります。



ロング

A 入力、B 出力でロング・ディレイになります。

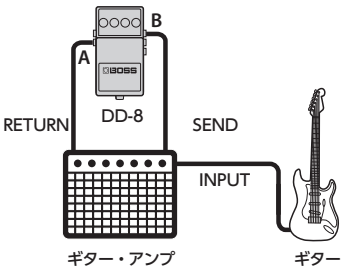


MODE	通常のディレイ	ロング・ディレイ
LOOP	40sec. *1	40sec.
STANDARD	20 ～ 800ms	40 ～ 1600ms
ANALOG	20 ～ 800ms	40 ～ 1600ms
TAPE	20 ～ 800ms	40 ～ 1600ms
WARM	20 ～ 800ms	40 ～ 1600ms
REVERSE	300 ～ 5000ms	600 ～ 10000ms
+RV	20 ～ 800ms	40 ～ 1600ms
SHIM	200 ～ 800ms	400 ～ 1600ms
MOD	20 ～ 800ms	40 ～ 1600ms
WARP	20 ～ 800ms	40 ～ 1600ms
GLT	10 ～ 400ms	20 ～ 800ms

*1：LOOP モード時はステレオ入力で最大 20 秒、モノ入力で最大 40 秒です。

ダイレクト・ミュート

B 入力／ A 出力でエフェクトの出力になります。

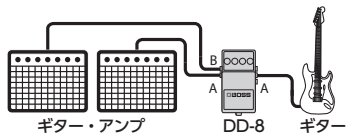


※ エフェクト・オン／オフにかかわらず、A からダイレクト音は出力されません。

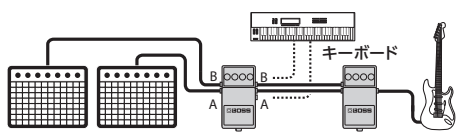
※ 接続機器の出力レベルにご注意ください。

ステレオ

A 入力、A ／ B 出力でモノ・イン・ステレオ・アウトのディレイになります。



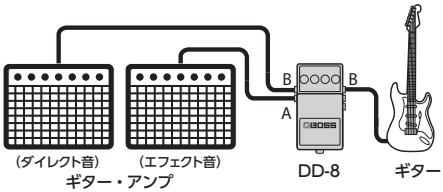
A ／ B 入力、A ／ B 出力でステレオ・イン・ステレオ・アウトのディレイになります。



※ ステレオ・ディレイの効果は 3 種類の中から選ぶことができます。詳しくは「ステレオ・ディレイの効果を設定する」(P.18) をご覧ください。

エフェクト+ダイレクト

B 入力、A ／ B 出力でエフェクト+ダイレクトの出力になります。



※ A：エフェクト、B：ダイレクト

※ エフェクト・オフにすると、A からはダイレクト音が出力されます。

ステレオ・ディレイの効果を設定する

ステレオ・ディレイとして使用するときの効果を設定します。ステレオ・ディレイの効果は 3 種類の中から選ぶことができます。

※ **ステレオ・ディレイの接続方法について、詳しくは「ステレオ」(P.16) をご覧ください。**

1. INPUT-A（MONO）端子にプラグを挿入、INPUT-B 端子からプラグをはずす。

2. ペダル・スイッチを押しながら INPUT-B 端子にプラグを挿入する。

ステレオ・ディレイの設定モードに入り、CHECK インジケーターはオレンジに点灯します。

3. ステレオ・ディレイの効果を選ぶ。

MODE つまみでステレオ・ディレイの効果を選びます。

MODE つまみ	効果	説明
LOOP	パンニング	パンニング・ディレイです。
ANALOG	ワイド・ステレオ	残響音に空間的な広がりをもたせたステレオ・ディレイです。
STANDARD	完全独立ステレオ	A ／ B 完全独立のディレイです。

MODE つまみ	効果	説明
TAPE	パンニング	パンニング・ディレイです。
WARM		
REVERSE		
+RV		
SHIM		
MOD		
GLT		
WARP		

※ **工場出荷時は「STANDARD」に設定されています。**

4. 設定を保存する。

ペダル・スイッチを踏むと CHECK インジケーターがオレンジの高速点滅をし、設定を保存します。

設定が保存されると、通常の状態に戻ります。

※ **CHECK インジケーターの高速点滅中は、絶対に電源をオフにしないでください。**

※ **この設定は電源をオフにしても保存されます。**

エクスプレッション・ペダルによるコントロール

TEMPO/EXP 端子にエクスプレッション・ペダル（Roland EV-5、BOSS FV-500H、FV-500L、EV-30:別売）を接続すると、［E.LEVEL］、［FEEDBACK］、［TIME］つまみの各パラメーターをコントロールすることができます。

※ **エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。**

エクスプレッション・ペダル機能の設定方法

1. ペダル・スイッチを押しながらエクスプレッション・ペダルを接続する。

エクスプレッション・ペダルの機能設定モードに入り、CHECK インジケーターはオレンジに点灯します。

※ **LOOP モード選択中は設定モードに入ることができません。**

※ **TEMPO/EXP 端子にエクスプレッション・ペダルを接続する際は、接続したエクスプレッション・ペダルのミニマム・ボリュームを「MIN」の位置にしてお使いください。**

2. パラメーターを設定する。

［E.LEVEL］、［FEEDBACK］、［TIME］つまみを回して、コントロールしたい範囲の最大値を設定します。コントロールしないパラメーターは「MIN」の位置に設定します。

※ **エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの範囲は、最大値のみ設定することができます。最小値は設定できません。**

3. 設定を保存する。

ペダル・スイッチを踏むと CHECK インジケーターがオレンジの高速点滅をし、設定を保存します。

設定が保存されると、通常の状態に戻ります。

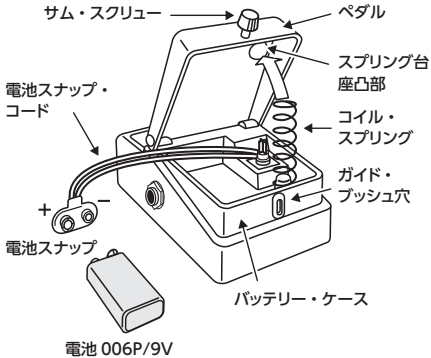
※ **CHECK インジケーターの高速点滅中は、絶対に電源をオフにしないでください。**

※ **この設定は電源をオフにしても保存されます。**

電池について

※ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。別紙の『安全上のご注意』と『使用上のご注意』に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとインジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。
※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。

電池交換のしかた



1. ペダル・スイッチを押さえながらサム・スクリューをゆるめて、ペダルを上に開く。

※ サム・スクリューは完全に取りはずすことなく、ペダルを開けられます。

2. バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずす。

3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れる。

※ 電池の極性（+／−）を間違えないようにご注意ください。

4. コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じる。

※ ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。

5. サム・スクリューをガイド・ブッシュ穴に入れて、確実に締める。

主な仕様

規定入力レベル	-20dBu
入力インピーダンス	1MΩ
規定出力レベル	-20dBu
出力インピーダンス	1kΩ
推奨負荷インピーダンス	10kΩ 以上
電源	アルカリ電池（9V 形） AC アダプター（別売）
消費電流	100mA ※ 連続使用時の電池の寿命（使用状態によって異なります） アルカリ電池：約 3.5 時間
外形寸法	73（幅）×129（奥行）×59（高さ）mm
質量	440g（乾電池を含む）
付属品	保証書 チラシ（安全上のご注意、使用上のご注意、サービスの窓口） アルカリ電池（9V 形、本体に接続済み）
別売品	AC アダプター：PSA-100 フットスイッチ：BOSS FS-5U、FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：Roland EV-5、BOSS FV-500H、FV-500L、BOSS EV-30

※ **0dBu = 0.775Vrms**

※ **本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。**

© 2019 Roland Corporation